

沖縄県医療ソーシャルワーカー協会

MSWニュース 12月号

2019年12月1日発行

事務局：大浜第一病院  
〒902-8571 那覇市天久 1000 番地

TEL (098) 866 - 5171

FAX (098) 864 - 1874

E-mail t-matayosi@ns.omotokai.jp

編集：下地 舞  
(那覇市立病院)

\*\*\*\*\*

MSW ニュースは毎月1日、  
県医療ソーシャルワーカー協会ホームページに  
更新掲載されています。

<http://www.msw-oaswhs.jp/>

\*\*\*\*\*

## CONTENTS

- 研修報告「エンドオブライフケア学会 第3回学術集会に参加して」……………2
- 研修報告「沖縄緩和ケア研究会 第1回学術集会 参加報告」……………3
- 在宅医療・介護連携 報告 令和元年度沖縄県入退院支援連携デザイン事業  
(第2回 圏域別調整会議:南部圏域)……………4
- 自主勉強会 めだかの学校……………5
- 新入会員紹介…………… 5~6
- トピックス「沖縄タイムス 暮らし相談(医療)掲載記事」……………7
- 部会からのお知らせ(研修部だより)……………8~9
- 11月理事運営会議録……………9~11
- 編集後記……………11

---

## 研修参加報告

「エンドオブライフケア学会 第3回学術集会」に参加して

琉球大学医学部附属病院 がん相談支援センター 山田綾美

---

2019年9月14日・15日の二日間、名古屋大学医学部基礎研究棟にて日本エンドオブライフケア学会第3回学術集会が開催されました。「地域とつなぐ！アドバンス・ケア・プランニング(ACP)～介護から救急医療まで人生の物語を大切な人へ～」をテーマに、多くの専門職が参加され、様々な視点から人生の最終段階の支援について講演・演題発表がありました。

今回、私は「沖縄県統一の緩和ケア情報シートを用いた意思決定支援におけるACPプロセス」と題してポスター発表の機会をいただきました。緩和ケアシートは、緩和ケア病棟へ転院する際に医師・看護師・患者・家族がそれぞれ記入するシートです。研究発表では、自身で緩和ケアシートが記入できない患者に対し、MSWが面談を行い緩和ケアシートの記入を支援することがACPにどのように関与するか、患者自身の意思の表出や言語化の側面から分析し報告しました。この研究活動を通して、患者より「今はまだ死を語りたくない」という反応もありましたが、面談を繰り返す中で患者自身が病状の理解を深めたり、今後の希望を言葉で表出することができたりなど、患者・家族が病気と向き合い、それぞれの思いを共有する大切な時間であったことを実感しました。

そのほか、救急現場における意思決定支援のジレンマのシンポジウムで特に印象に残っているのは、腫瘍内科医が述べていた、「最期をどのように迎えたいのかではなく、どのように生きるのか」という視点を忘れてはいけないということです。このシンポジウムでは、望まない心肺蘇生をどのように提示するかについて討論されていました。やはり大切なことは、話し合ったことを書面にして残しておくこと、かかりつけ医だけでなく地域で共有できる体制が必要だということでした。

「ACP＝死について考える」というネガティブなイメージがあり、患者が健康なうちから考えたくないと思うことに繋がっているのではないかと思います。そのため、「ACPは、“私が私らしく生きる”ための話し合いである」ということを医療者だけではなく地域住民へも伝えていくことが、大切だと思いました。また、欧米や豪州でのACPの取り組みについての講演や発表もあり、日本人の死生観を改めて考えることができました。

様々な視点からACPや意思決定支援について学ぶことができ、とても有意義な学術集会でした。この経験から、患者自身が未来のことについて考えられるよう、まずは日々の面談から患者の人生観・死生観を受け止め、患者の“その人らしさ”を引き出せるよう私自身の面談スキルを磨き、ACPの実践に活かしていきたいです。

---

## 研修参加報告

### 沖縄緩和ケア研究会 第1回学術集会 参加報告

沖縄協同病院 地域連携課 長 原野

---

2019年11月17日(日)琉大病院にて「沖縄緩和ケア研究会 第1回学術集会」がおこなわれました。この研究会は、琉球大学医学部附属病院地域医療部緩和ケアセンター診療教授の中島信久医師が発起人となり、「沖縄県内で緩和ケアに携わる人たちが発表したり、継続して学んだり、情報交換したり、交流したり、そんな身近な会を」という趣旨で今年度より活動を始めました。会員は緩和ケアに関わる医療、介護、福祉などの専門職が対象となり、現在約120名、本島内に限らず、離島も含めた活動を目指しています。まずは、この学術集会を開催することを大きな活動として、4月より私も世話人として準備、運営に携わってきました。

午前中に一般演題、要望演題が16題、午後はシンポジウムもおこなわれ、県内の緩和ケアの現状と課題について、多職種からバラエティに富んだ発表があり、学びの多い機会となりました。

また、私も「MSWが実感する緩和ケアの課題」というテーマで演題発表をしました。

以前、緩和ケア病棟で受入相談・調整、入院患者家族への相談支援・生活支援・地域連携に携わってきた経験をふまえ、急性期病院で実感している5つの課題を分析し、改善策について考察したものです。

学術大会の様子は、後日ホームページにも掲載されます。

関心のある方はご覧ください。

<https://genyawolf.wixsite.com/okinawa-pcsg>



---

## 在宅医療・介護連携 報告

### 令和元年度沖縄県入退院支援連携デザイン事業

#### 「第2回目 入退院調整に係る基本指針策定に向けた圏域別調整会議 (南部圏域)」

令和元年 11 月 14 日(木)

那覇市在宅医療・介護連携支援センターちゅいしーじー那覇

在宅医療・介護連携コーディネーター 高江洲あやこ

---

去った 11 月 14 日(木)上記会議が開催されました。今回は、8 月に行われた第 1 回の会議を踏まえ、修正版についてさらに意見聴取がなされました。開会に際し、沖縄県高齢者介護福祉課より「入退院に際して医療・介護サービスが切れ目なく提供されるにはどうすればいいのかという視点に立ち支援ツールとして策定している」との主旨が述べられました。続いて今後の計画として、ポスター、パンフレットを作成すること、映像ソースも想定しており、それらの広報についてはワーキンググループの立ち上げを検討している旨説明がありました。

続いて「沖縄県における入退院支援連携に関する基本指針(案)」の修正版について読み合わせが行われました。「ご本人・ご家族へのお願い」は、一般県民にわかりやすい表現にしたことや「情報共有シート」は何を指すか注釈をつけたこと等、「病院関係者の心得」では、「本人や家族の想いに耳を傾け」を加えた等の説明がありました。また、参考事例紹介では、好事例を示すことで入退院支援連携の実践に活かす目的であることが明確化されました。さらに、それぞれの事例の要所が基本指針のどの部分を指しているのか、ポイントを示すことにより基本指針との連動性を持たせたとのことでした。

意見交換では、表現の再検討として、救急受診時の「連絡先を身に付けておきましょう」や「退院後の療養継続を目指したケア」等が挙げられました。代替案として、「本人・家族が希望する生活に戻れるように」等が挙げられました。その他、障碍分野の視野も組み入れて頂きたい旨や「ご本人・ご家族へのお願い」の部分に、家族へ日頃からの本人の健康状態を知り、本人の変化に気を配って頂きたい旨のメッセージを加えてはどうかとの要望が挙げられました。

また、広報の方法としても様々な意見が挙げられました。医療・介護関係者向けには、集団指導の資料に加えてはどうか、一般県民への広報に関しては、コンビニ、郵便局、ガソリンスタンド、バス、トイレなど何気なく目につくところはどうか、老人クラブへの広報・説明、ラジオ等の媒体を使うのはどうか、診察時に医師から渡してもらう、入院のしおりに挟んでもらう等の意見が挙げられました。さらに、家族である子どもからの発信を想定して SNS の活用やポスターに QR コードを付ける、ツイッターにリツイートする等も挙げられました。

これまでの作成に至った経緯に敬服すると共に、これから作成されるポスターがより多くの県民の目に触れ、入退院に関する理解と医療・介護関係者との信頼が深まることを期待します。

---

## 自主勉強会報告

めだかの学校

令和元年 11 月 13 日

豊見城中央病院 地域医療部 名前 伊佐 香保里

---

今月のめだかの学校は 11 月 13 日に『ソーシャルワーカーとケアマネジャーの連携について』というテーマで大浜第二病院にて行われました。私は初めて参加させていただきました。

居宅介護支援事業所おもととよみの杜の神里さんにお越しいただきお話をお聞きしました。まず初めにケアマネジャー側とMSW側それぞれで連携する際に困っていることを全体で共有しました。MSW 側の困りごととして挙げられていたことの中に、家族がケアマネを把握していないというのが挙げられていましたが、私も今までに何度も困った経験があります。その対応策として、入院したらケアマネへ必ず連絡するようアプローチをしているというお話を神里さんからお聞きし、ご家族の中でその流れが全体的に定着したら良いなと思いました。

また、ケアマネジャーが普段どのような業務を担っているのかについても紹介いただきました。サービス利用の相談やケアプランの作成、見直しだけでなく、前月分のサービス利用状況の確認を月初めにしているということを知りました。

他にも、高齢者支援協会の紹介もありました。名前を聞いたことはありましたが、何をしている団体なのかはよく知りませんでした。今後ますます高齢化が進み身寄りのない方の緊急入院等も増えていくことが予想されるため、活用できる一つのツールとして頭に入れておきたいと思いました。今まで毎日のように連携してきたケアマネさんですが、今回どのような業務内容があり何に困っているのかを知ることができたため、今後の連携に役立てられる勉強会でした。ありがとうございました。

\* 11 月に「めだかのホームルーム」「めだかの放課後」「OGSV」の自主勉強会の開催はありませんでした。

---

## 新入会員紹介

中部徳洲会病院 平良 有紗

---

こんにちは。中部徳洲会病院に勤務して3年目となりました。今年から、担当病棟が整形外科から循環器内科へ変更となり回転率の速さから、患者さんの把握と疾患理解に苦勞しています。その中で、入退院支援カンファレンスにて、新入院の患者さんの病室を退院支援ナースと共にラウンドしているのですが、退院に向けて介入が必要そうか、どうしたらスムーズに退院ができるのかをナ

ースと話し合う場は、とても大切だなと実感しています。このカンファレンスを意識する事で、残業も気持ち減った(?!)ような気がします。今後とも、どうかよろしくお願いいたします。

---

### 新入会員紹介

中部徳洲会病院 医療福祉相談室 伊佐 和香奈

皆さん、こんにちは。中部徳洲会病院で勤務しています伊佐和香奈と申します。入社してから3年目となりました。入社した当時は初めての相談業務に加え、猛スピードで退院支援を迫られる急性期病院でやっていけるのかな・・・など不安になる事も多かったと振り返って思います。

現在は、受け持ちの病棟業務に加え、色々とすさまじい救急外来、一般外来患者様からの相談対応など、様々なケースに携わる事が出来るようになりました。相談内容や解決に至る経緯が同じ事はなく、まだまだ力不足を感じつつではありますが、患者様・そのご家族様と一緒に考えサポートできるようこれからも頑張っていきたいと思っております。今後とも宜しくお願いいたします。

---

### 新入会員紹介

中部徳洲会病院医療福祉相談室 小橋川 ひかる

こんにちは。中部徳洲会病院で勤務しています小橋川ひかると申します。社会福祉士の資格を取得し勤務してから3年目になりました。今年の6月から担当病棟の変更もあり、知識不足を感じる毎日を過ごしています。他機関との協力・連携が図れるよう余裕をもって対応するのが理想ですが…現実には急性期病院のめまぐるしい回転に追いつけず余裕なく目の前の業務に対応する日々で皆様にはご迷惑をおかけしていることも多々あるかと思っております。少しでも気持ちにゆとりを持てるよう努めていきたいと思っておりますので今後も宜しくお願い致します。

---

### 新入会員紹介

那覇市立病院 総合相談センター 赤嶺 真央

はじめまして。那覇市立病院総合相談センターで4月から勤務させていただいております赤嶺真央と申します。入社して半年が経ちますが、患者・家族と関わる中で自分自身の知識や技術不足を痛感することも多く、周りの先輩方達に助けをもらいながら日々業務に励んでおります。

医療ソーシャルワーカーとしてより良い支援ができるように、研修会など積極的に参加し、自己研鑽に努めていきたいと思っております。今後とも宜しくお願いいたします。

---

## トピックス

### 「話し合い 困り事を解決」

沖縄タイムスクらし相談(医療) 2019年11月18日(月)掲載  
済  
県医療ソーシャルワーカー協会 石郷岡 美穂

---

ソーシャルワーカーの祖先は 19 世紀に英国の慈善組織で活動していたアルマナーと呼ばれる人々でした。彼らは貧困者を戸別訪問し、救済活動を行いました、19 世紀末には病院に訓練を受けた有給のアルマナーが誕生しました。20 世紀初めの米国では、患者の社会的側面に関心をもっていた医師によって医療家庭訪問員としてソーシャルワーカーが病院に採用されました。彼らは患者宅を訪問し生活環境を見て、話しを聞き、その情報がよりよい医療のために役立てられたそうです。

私の活動範囲は残念ことに病院の中に限られています。相談者とその人を取り巻く環境(家族や学校、職場、住まい等)を深く理解し、その方の困り事を解決するには、地域の支援者とつながることも大切です。医療のみならず介護や福祉、保育、消防などの機関や、特別支援学校の先生、保健師などさまざまな専門職と協力し合います。

地域には医療機器を体に装着したり、持参して保育園や学校に通う子どもたちが暮らしています。病院関係者にとって当たり前と思える事も、その子たちを受け入れる側にとって慣れない機器やトラブル時の対応には不安があります。そんな時ソーシャルワーカーは、地域と病院の懸け橋となり、情報交換や話し合いを重ねて解決の道を探します。その積み重ねは次の子を受け入れる、地域の力になると信じています。

支援者が支援方法に悩んでいるケースもあります。そんな時はソーシャルワーカーの理論やアプローチ法を用いて一緒に考えます。そういう意味では私たちも地域の資源・人材なのだと考えます。患者支援の話し合いは、患者さん(保護者)も入って一緒に行くことが大事で、関係者のみで行う場合は本人の承諾を事前に得ることが原則です。

\* 2019 年度、毎月第 3 月曜日の沖縄タイムスに、「くらし相談(医療)」欄に記事が掲載されます。皆さんご覧になってください。

---

## 12月研修部だより

### めだかの学校(おおむね経験年数3年未満)

テーマ	医療機関と生活保護について 講師: 沖縄市役所生活保護課
日時	12月 第2週目で調整中
会場	ハートライフ病院
参加費	無料
問い合わせ	大浜第二病院 医療福祉課 謝敷

※今後、第3水→第2水で実施していく予定

### 県慢性期協会SW部会・県 MSW 協会合同研修

テーマ	災害時における MSW の役割 ～院内外での活動について～
日時	12月6日( 金 ) 15:00～
会場	おもろまちメディカルセンター
参加費	無料
問い合わせ	翔南病院 地域医療連携室 山里 tel930-3020

※先日の案内文書では開始時間が14:00～となっていました但15:00へ変更です！

### めだかのホームルーム(おおむね経験年数3年以上)

テーマ	お休み
日時	
会場	
参加費	無料(飲食代100円)
問い合わせ	沖縄協同病院 地域連携課 松永

### めだかの放課後(経験年数5年以上)

テーマ	お休み
日時	
会場	中頭病院
参加費	無料(飲食代200円)
問い合わせ	大浜第一病院 医療福祉課 當銘



## O G S V

テーマ	中堅者研修シラバス
日時	12月18日(水) 19:00~20:00
会場	那覇市立病院
参加費	無料
問い合わせ	沖縄国際大学 樋口

## 10月 理事運営会議録

開催日時 2019年11月18日(月)19:00~20:30 場所 県総合福祉センター

出席者 樋口会長、新垣副会長、當銘事務局長、安慶名(司会)、長、石郷岡、小橋川、  
伊禮、(書記)

欠席者 又吉副会長、高江洲、山城、香村、秦、兼島、大久保

### 1. 各部報告

#### 〔研修部〕長理事

##### 1) めだかの学校

12/11(水):「医療機関と生活保護について」ハートライフ病院

##### 2) めだかのホームルーム

12月なし

##### 3) めだかの放課後

12月なし

##### 4) O G S V

12/18(水)19:00~20:00@那覇市立病院:中堅者研修シラバス

##### 5) 慢性期協会MSW合同研修

「災害時におけるMSWの役割 院内外での活動について」

おもろまちメディカルセンター 12/6(金)15:00

#### 〔広報部〕安慶名理事

担当:那覇市立病院 下地さん

タイムス掲載記事 12月伊禮、1月長、2月大久保、3月小橋川

はいさいワーク:なし

## 〔社会活動部〕

なし

### 2. 事務局 當銘事務局長

- ・異動 1名
- ・11/6 沖縄県ソーシャルワーカー協議会→樋口会長参加

#### <協議事項>

- ・「沖縄フォーラム 2019」後援依頼→承認
- ・12/11（水）19：00 沖縄県医療推進協議会→新垣副会長参加

### 3. 九州医療ソーシャルワーカー協議会：11/23（土）・24（日）くまもと森都心プラザ内

- ・2018年度おきなわ大会報告
- ・2018年度中堅者研修報告
- ・全国医療ソーシャルワーカー協会会長会・役員会について
- ・2018年度決算・2019年度予算について
- ・災害対策費の運用等について
- ・九州医療ソーシャルワーカー研修会の名称変更について
- ・2020年度以降の九州大会開催県について

### 4. 入退院支援連携デザイン事業

沖縄県入退院支援連携デザイン事 <専門研修>

「地域包括ケアシステムにおける老人保健施設の役割」

日程：2020（令和2年）2月19日（水）14：00～17：00

講師：高知県医療ソーシャルワーカー協会 会長 中本雅彦氏

介護老人保健施設リゾートやわらぎ

#### 今後の予定

- |           |       |                    |                 |
|-----------|-------|--------------------|-----------------|
| 11/28（木）  | 14：00 | 八重山圏域調整会議          | 八重山合同庁舎<樋口・安慶名> |
| 12/02（月）  | 14：00 | 宮古圏域調整会議           | 宮古島市役所<樋口・當銘>   |
| ・12/05（木） | 19：00 | 中部圏域調整会議           | 中部地区医師会<樋口・安慶名> |
| 12/09（月）  | 14：00 | 北部圏域調整会議           | 北部会館<樋口・高江洲>    |
| 01/16（木）  |       | <u>老健協会との合同研修会</u> |                 |
- 講師：高知県医療ソーシャルワーカー協会 会長中本雅彦氏

その他（研修のお知らせ）

①1/18（土）10：30～16：30 多職種コンソーシアム実践研修会（6名）

総合福祉センター ゆいホール

参加者：新垣・當銘・伊禮・安慶名・山城・秦

②県ソーシャルワーク交流会

2/22（土）ソーシャルワーク学会後お昼に交流会予定

③日本医療ソーシャルワーク学会

2021年度、沖縄県で開催依頼あり

過去の開催資料を取り寄せて協力体制検討する

次回理事会 12月16日（月）18：30～ 司会：新垣 書記：石郷岡 連絡：伊禮

**☆編集後記☆**

今年も残すところあと1ヶ月となりました。少しずつ肌寒くなってきておりますが、みなさん体調いかがでしょうか？体調に気をつけながら忙しい年末を乗り切っていきましょう。

今回、お忙しい中原稿を快く引き受けてくださった協会会員の皆様、ご協力いただき本当にありがとうございました。